

科目名	臨床看護の実践		時期		時間	単位
担当教員	非常勤講師 看護師として5年以上の実務経験を有する 専任教員		3年次	前期・後期	30時間	1単位
科目設定理由	看護は、人間の健康に焦点をあて、あらゆる成長・発達段階にある個人、家族、集団、地域・社会の中で生活している人を対象とし、その人がもつ力を最大限に発揮し、最期までその人らしく生きることを支援する。そのため、看護実践では様々な状況にある対象の安全・安楽および優先順位を瞬時に判断し、迅速に対応することが求められる。そこでの確かな看護実践を遂行するため、よりリアルに実際の対象の状態・状況を想定した臨床判断能力と看護実践能力の修得を目指す。医療チームの一員として役割遂行と多職種協働について様々な授業形態で多方面から学ぶことを目的にこの科目を設定した。					
学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 安全に医療機器を取り扱う方法を理解する 2 看護実践場面における多重課題と優先順位について理解する 3 場面に応じたアセスメントと援助を安全に実施する 4 授業を通して、自己の課題と傾向を見出す 					
修得する看護技術経験録	No. 68医療機器（輸液ポンプ、シリンジポンプ、心電図モニター、酸素ボンベ、人工呼吸器等）の操作 ※心電図モニター、酸素ボンベは除く					
授 業 計 画						
回数	項目	内容				備考
1～2	チームで協働する看護実践	<ol style="list-style-type: none"> 1 ME機器の取り扱い <ol style="list-style-type: none"> (1)ME機器の管理 (2)輸液ポンプ、シリンジポンプの適応、観察、操作 (3)人工呼吸器の適応、観察、操作 				講義 演習 DVD No. 68
3～5	臨床現場の実際	<ol style="list-style-type: none"> 1 複数患者の状況判断と援助計画 2 多重課題と優先順位 3 時間管理と業務の組み立て 				講義 DVD
6～10	臨床現場を再現した事例を用いた実践	<ol style="list-style-type: none"> 1 事例の看護実践【シミュレーション演習】 <ol style="list-style-type: none"> (1)臨床判断（援助実施の可否） (2)安全性・正確性・倫理性・効率性を考えた実施 (3)自己の実践の振り返り 				講義 演習 シミュレーション演習
11～14	様々な患者の状況に応じた看護実践	<ol style="list-style-type: none"> 1 事例の看護実践【シミュレーション演習】 <ol style="list-style-type: none"> (1)臨床判断（多重課題への対応） (2)安全・安楽・自立 (3)タイムプレッシャー (4)優先順位 (5)状況に合わせた看護実践 (6)自己の実践の振り返り 				講義 演習 シミュレーション演習
15	終講試験					
使用テキスト	系統看護学講座 専門分野 看護の統合と実践[1] 看護管理		上泉 和子 他		医学書院	
	系統看護学講座 専門分野 基礎看護学[3] 基礎看護技術Ⅱ		有田 清子 他		医学書院	
	フィジカルアセスメントガイドブック		山内 豊明		医学書院	
	根拠と事故防止からみた基礎・臨床看護技術		任 和子 他		医学書院	
参考図書・資料等	医療安全ワークブック		川村 治子		医学書院	
評価方法	筆記試験、レポート、技術試験から総合的に評価する					